

ふたば ぐん きょういく ふっこう 双葉郡教育復興ビジョン

平成23年3月11日に起こった東日本大震災から2年半がたちました。今でも原発事故の影響で避難が続いている双葉郡の復興には子どもたちが元気に楽しく勉強したり運動したりしながら、将来の双葉郡の担い手としても成長するためには、どんな学校が必要なのか、みんなで話し合っ「福島県双葉郡教育復興ビジョン」を作りました。これから、双葉郡の8町村は国や福島県と協力して、計画を立てて、新しい学校づくりを実行していきます。

今回の震災や原発事故を通して学んだことを生かして、「心」や「命」を大切にする人になりたいなあ。

たくさん勉強して、双葉郡の復興に役に立つ人間になるぞ！

はなればなれになった友達と、いつか一緒に勉強や運動ができるといいなあ。

地域の人たちと一緒に、双葉郡の歴史や文化について勉強できたらいいなあ。

全国の人に、双葉郡の学校のことを知ってもらいたいなあ。

1 幼稚園から大学まで、 同じ目的をもって学ぶことができる学校

- 震災の経験を通して学んだことを双葉郡や福島県の復興や、より良い世界の実現に生かせるような力を身につけられるようにします。
 - ・中高一貫校（中1から高3まで6年間続けて勉強する学校）をつくります。
 - ・地域の課題を実際に解決するような学習や、海外留学などの経験を通して、復興に役立つ力や世界に羽ばたける力を身につけます。
- それぞれの町や村の幼稚園、小学校、中学校が交流をしながら学習できるようにします。



2 地域の人をはじめ、 いろいろな人が積極的にかかわる学校

- 地域コミュニティの中心となる学校をつくります。
- 地域の人々が先生となって、子どもに双葉郡の歴史や文化を教えたり、子どもたちが地域の活動に参加したりします。
- 地域の人々も学習できる場所にします。
- 福島大学などと一緒に、双葉郡の子どもたちが勉強できる環境を整えます。
- 双葉郡で働く人や会社とも協力して、将来、双葉郡の産業を支える人になるための勉強ができるようにします



3 ひなん 避難している人とのきずなを大切にする学校

- 双葉郡の学校に通っていない子どもも「双葉郡の子ども」として、双葉郡の様子をお知らせしたり、避難先での学習の支援を行います。
- 双葉郡から離れて暮らす人が、ふるさと双葉郡にふれあえるように、友だちや先生と会って活動する「再会の集い」を継続的に行います。

